

2018年1月19日

2017年メキシコ中部の地震に対する対応について

一般社団法人 日本建築学会  
災 害 委 員 会  
委員長 勅使川原 正臣

2017年9月19日、メキシコ・プエブラの南を震源とする  $M_w7.1$  の地震が発生したことに伴い、災害委員会では地震発生直後からインターネットWG（主査：神野達夫・九州大学教授）が中心となって情報収集を行い、[災害委員会のホームページ](#)から公開を行ってまいりました。また、このたび下記のとおり災害調査団を編成して派遣いたしましたのでご報告いたします。帰国後、調査速報会を開催する予定です。

1. 調査団：齊藤 大樹（団長、豊橋技術科学大学教授）  
松井 智哉（豊橋技術科学准教授）  
田尻清太郎（東京大学准教授）  
日比野 陽（広島大学准教授）  
壁谷澤寿一（首都大学東京准教授）
2. 調査期間：1月18日（木）～23日（火）
3. 調査内容：1) メキシコシティを中心とする建築物の被害調査  
2) 被害地域で用いられる建築構造、構造詳細の把握  
3) 個別建物における被害原因の抽出  
4) 観測データ、基準等の情報収集  
5) 上記結果のとりまとめと報告書の公開  
ほか

以上